

令和2年度 上下水道局 経営方針

平成28年4月に策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画（計画期間：平成28～令和2年度）」に基づき、着実に事業を推進することで市民サービスの水準を確保しつつ、福岡県内で一番安価な上下水道料金を維持するように努めます。

また、令和2年度は現中期経営計画の最終年度であり、重点施策の目標達成を目指し、各事業を着実に実施します。

- 重点的に取り組むもの
 - 災害等の危機管理対策
 - 経年化施設の長寿命化・更新
 - 安全・安心でおいしい水の供給
 - 環境負荷の低減
 - 国内外に貢献する上下水道

予算の概況

【上水道事業会計】

〈水道事業〉

- 収益的収支は、6.0億円の黒字
- 単年度資金収支は、2.6億円のマイナス
(累積資金剰余(基金含む) 68.1億円)
- 企業債残高は、620.3億円

〈水道用水供給事業〉

- 収益的収支は、1千万円の黒字
- 単年度資金収支は、0.5億円の黒字を確保
(累積資金剰余 △0.9億円)
- 企業債残高は、36.8億円

【工業用水道事業会計】

- 収益的収支は、2.3億円の黒字
- 単年度資金収支は、1.2億円の黒字を確保
(累積資金剰余 19.1億円)
- 企業債残高は、23.0億円

【下水道事業会計】

- 収益的収支は、3.7億円の黒字
- 単年度資金収支は、1.2億円の黒字を確保
(累積資金剰余 28.7億円)
- 企業債残高は、1,522.0億円

令和2年度 上下水道局予算 主要事業

(1) 災害等の危機管理対策

大規模な災害などが発生した場合でも、安全で安定的な給水や下水処理を行えるよう、防災・減災の観点から、施設の耐震化やバックアップ機能の強化を推進します。また、近年の集中的な豪雨に起因する浸水被害の危険性が高まっていることから、浸水に対する安全度の向上を図ります。

■水道の震災対策推進事業 6,248,888千円

地震などの災害に対して、災害に強いライフラインを構築するため、水道管路や浄水場・配水池の耐震化を計画的に行い、送水管の2条化整備などによるバックアップ機能の強化にも取り組みます。

- ・浄水場・配水池の耐震化 261,342千円
穴生浄水場や皿山配水池の耐震化工事など
- ・水道管路の耐震化 5,423,065千円
配水管等の耐震化
- ・バックアップ機能の強化 532,457千円
小森江系送水管
山ノ神ポンプ場非常用発電設備更新など
- ・応急給水能力の向上 32,024千円
応急給水施設整備工事

■下水道の震災対策推進事業 2,258,000千円

地震などの災害に対して、被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、ポンプ場の耐震化を計画的に実施するとともに、避難地・防災拠点等に接続する重要な管渠の耐震化にも取り組みます。

- ・下水道管渠の耐震化 1,918,000千円
馬借二丁目地内他管渠更生、萩原一丁目地内他管渠更生 など
- ・ポンプ場の耐震化 340,000千円
則松ポンプ場耐震対策、藤田ポンプ場耐震対策 など

■豪雨対策推進事業 2,860,000千円

近年の集中的な豪雨により浸水被害が頻発していることを踏まえ、雨に強いまちをつくるため、浸水被害を最小化し、浸水に対する安全度向上を図ります。

- ・昭和町雨水貯留管
- ・天籟寺初音町主要幹線、神嶽ポンプ場1号雨水ポンプ新設 など

■寒波対策事業 7, 147千円

－2℃以下の寒波予報が出された場合に、高台地区にある空き家の元栓を閉めます。加えて、宅地内水道管の点検・診断業務を漏水調査に併せて行い、未然に漏水を防止します。

- ・空き家漏水防止対策
- ・宅地内水道管の点検・診断業務

(2) 経年化施設の長寿命化・更新

高度経済成長期に整備した施設の多くが更新時期を迎えることから、可能な限り長寿命化を図ります。また、更新に際しては、将来需要を考慮しながら、施設規模と機能の最適化を図り、重要度・優先度を踏まえた効率的・計画的な更新を行います。

■水道施設の改築更新事業【一部再掲】 7, 170, 143千円

経年劣化が進んでいる導送配水管や電気・機械設備機器等の浄水施設の更新を計画的に行います。

- ・配水管等の更新《再掲》 5,423,065千円
配水管更新、導送水管更新
- ・浄水施設等の更新 1,747,078千円
穴生浄水場中央監視制御設備更新工事 など

■工業用水道施設の改築更新事業 584, 287千円

経年劣化が進んでいる工業用水道管や電気設備等の更新を行うとともに耐震化を推進し、安定給水の向上を図ります。

■工業用水道のスマート検針導入事業 37, 400千円

昭和44年以降アナログ式のままである工業用水道の検針について、使用水量の監視が行えるようにする等お客さまサービスの向上を図るとともに、業務を効率化するためスマート検針を導入します。

■下水道施設の改築更新事業 3, 758, 000千円

下水道の機能を将来にわたり、安定かつ継続的に確保するため、下水道施設を適切に維持管理し、施設の状況を的確に把握しながら、適宜施設の改築更新を進めます。

- ・新町浄化センター最初沈殿池防食
- ・日明浄化センター中央監視設備改良 など

(3) 安全・安心でおいしい水の供給

いつでも安全で良質な水道水をお届けできるよう、水源水質の保全や直結給水の普及促進などに取り組みます。

■アクアフレッシュ事業 8, 000千円

子供たちの直接蛇口から水を飲む文化を育むため、市立小中学校等の等の直結式給水への切り替えを促進します。

■遠賀川の水質改善対策**9,600千円**

遠賀川流域の水質・環境の改善を図ることを目的とする住民団体等による環境保全活動などに対して支援を実施します。

(4) 環境負荷の低減

水や資源の循環と低炭素化を進め、より良い環境づくりに貢献します。

■合流式下水道の改善推進**1,824,000千円**

下水道法施行令で定められた期限（令和5年度末）までに放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減し、良好な水環境をつくります。

- ・西本町地内、槻田地内、下津地内、
- ・皇后崎浄化センター水処理設備工事

■水道メーター再資源化事業**4,386千円**

本城リサイクルプラザを活用し使用出来なくなった水道メーターを分解・選別した上で、再資源化を図ります。

(5) 国内外に貢献する上下水道

本市の持つ高い上下水道技術を積極的に国内外で活用するとともに、上下水道事業の広域化や海外水ビジネスを通じて、国内外の上下水道に関する課題解決や地域産業の振興に貢献します。

■水道事業の発展的広域化**1,083,788千円**

平成28年度から開始した宗像地区事務組合の水道業務包括受託について、引き続き水道施設の運転や維持管理、料金徴収などを実施します。

また、連携中枢都市圏「北九州都市圏域」の水道事業者等を対象に、広域連携の必要性について理解を深めることを目的とした水道広域セミナーを開催するとともに、圏域全体に相乗効果が期待できる発展的な広域化に向けて、検討を進めます。

- ・宗像地区水道施設維持管理等業務委託
- ・水道広域セミナー など

■海外事業の展開**153,125千円**

SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」の達成へ寄与するため、上下水道の国際技術協力に取り組みます。

さらに、協力関係で培った信頼や人的関係を基に、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との官民連携により、本市経済の活性化に繋げるための海外水ビジネスを推進していきます。